1．プロフィール

ふりがな　ヤマモト ヒトミ
氏　名　山本ひとみ
年　齢　67 歳
職　業　市議会議員
生年月日　1955 年 8 月 15 日
住　所　武蔵野市
最終学歴　京都大学 文学部卒業
略　歴
岡山県倉敷市生まれ。
働きながら市民運動に参加。
1995 年武蔵野市議会議員選挙に当選。
落選中も政治活動を続け、知的障がい者がい者外出介助のガイドヘルパーとしても働く。
2007 年選挙は惜敗。2011 年選挙で再度当選。

2．自己紹介

市議会議員としては、2017 年度建設委員会委員長、2020 年度と 2022 年度文教委員会副委員長。
保育園や学童クラブの役員、第二小学校・第六中学校では PTA 役員を経験。
新型コロナが本格化して以降、新型コロナ災害緊急アクションで活動。避難の協同センター世話人。
市民の力が政治を変える、と訴え、無所属市民派の市議会議員として、既成の権威によりかからず、企業・宗教団体・労働組合など、特定の団体の利害にとらわれず、市民のカンパとボランティアで政治を変えるために活動。

3．テーマ①「市議として最も取り組みたいテーマ」について
市議になった場合、最も取組みたいテーマについてお考えをお聞かせください。

私は、分かち合う経済・支え合う社会をめざし、差別や排除のない、誰もが安心して暮らせるまちをめざしています。したがって、年齢・性別・国籍・障がいの有無・性的指向や性自認・出自などにかかわらず、人権侵害や差別に対する苦情処理や是正勧告のできる第三者機関の設置が、最も訴えたいテーマです。具体的には、インクルーシブ教育や義務教育段階の不登校児童生徒への経済的支援、障がい特性に応じた住まいの確保なども政策と

してあげられます。

4．テーマ②「武蔵野市の今後の方向性」について
　武蔵野市はどのようなまちづくりをしていくべきなのか。武蔵野市が今後目指していくべき方向性について、お考えをお聞かせください。

私は「差別や排除のない、誰もが安心して暮らせるまち」をめざしています。そのためには、①差別を許さず、多文化共生を進めるまち②子どもの育ちを地域で支えるまち③都会でありながら緑あふれる環境を発展させるために、景観を大切にして雑木林や生物多様性を保全するまち④新型コロナ災害の深刻化は、多くの人に失業や収入減をもたらしました。市の公共料金や社会保険料減免拡大など、生活困窮を支え、物価高騰に対応するまち、の方向性が必要です。

5．テーマ③「住民投票制度のあり方について」
　昨年、住民投票条例案は否決されましたが、住民投票制度は今後どうあるべきか、お考えをお聞かせください。

自治基本条例 19 条に住民投票制度は明記されており、2020 年 3 月全会一致で可決成立しました。私は、議会の議決を必要としない常設型の住民投票制度は、市民参加を進めていく上で必要だと思っています。一方、2021 年市議会で、行政の提案した住民投票条例案は否決され、周知のあり方をはじめ、多くの意見が寄せられたことを考える必要があります。市民が参加しやすいプロセスと市民の意見を活かせる条例になるような取り組みが必要だと思います。